

## 広島県鉄構工業会が総会

### 「安値案件、慎重対応を」

広島県鉄構工業会（理事長＝山本泰徳・スアントス社長）は25日、第48回通常総会を



ウェブ開催した総会の様子

ウェブ開催し、役員ら6人と事務局関係者が参加した。議事では事業報告、事業計画、定

款の一部変更などが承認された。鋼材価格の値上がりを受け、鉄骨ファブリケーターでは仕入れコストの上昇が続く。山本理事長は、「地区の建築需要は低調だが、焦って安値案件

を受注すると鋼材の値上がり分を吸収できない可能性がある。組合員各社、損失が生じないよう慎重な対応を心掛け、現状を乗り越えてほしい」と提言した。2020年度に実施した大きな事業はウェブサイトのリニューアル。業界のイメージアップと人材確保を狙い、若年層に興味を持ってもらう工夫を凝らした。21年度も人材の確保・育成を重点活動項目の一つに掲げる。組合の体制強化を目的に定款を一部変更、員外理事・員外監事を迎え入れるための項目を追加した。

ウェブ開催し、役員ら6人と事務局関係者が参加した。議事では事業報告、事業計画、定款の一部変更などが承認された。鋼材価格の値上がりを受け、鉄骨ファブリケーターでは仕入れコストの上昇が続く。山本理事長は、「地区の建築需要は低調だが、焦って安値案件